

平成 27 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基 本 目 標 1 健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち
政 策 目 標 4 子どもが健やかに育つまちに
重 点 的 取 組 2 確かな学力を身につけ、社会をたくましく生きる子どもを育てる

担当課名		教育部 教育指導課	
予算科目	会計	01	一般会計
	款	09	教育費
	項	01	教育総務費
目	目	03	教育振興費

事業名	学校教育振興一般事業	事業開始年度	平成 27 年度
	いじめ防止対策推進事業	根拠法令 条例 個別計画等	いじめ防止対策推進法 いじめ防止基本方針 生徒の死亡に係る調査報告書

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	廿日市市立小・中学校の児童生徒	全ての児童生徒が、いじめの被害を受けたり、加害や傍観者の立場に立つことなく、安心して学習やその他の活動に取り組むことができる学校をつくる。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
市	指導体制を充実させるための支援 緊急時の支援 人員の配置	小学校 中学校	学校でいじめを認知した際には速やかに報告する。 未解決の際には定期的に状況報告する。

3 平成 27 年度 予算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

活動内容

①廿日市市いじめ問題対策連絡協議会、廿日市市いじめ防止対策委員会の設置
いじめ防止対策推進法並びに本市の条例に基づき、いじめ防止等に関する関係機関及び団体との連携を図るとともに、いじめ防止対策を実効的に進めるための協議を行う。

②スーパーバイザーによるアセスメントの実施
全小・中学校に、年2回スーパーバイザーを派遣し、アセスメントの研修及び学級担任との面談を実施する。

③学校に対する支援体制の充実
いじめ防止対策指導員及び相談員、特別支援教育士、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを必要に応じて学校に派遣し、いじめの早期解決を図る。

④相談しやすい環境の整備
携帯・スマホの問題について全市的に考える機運を高めるため、リーフレットを作製、配付する。

【歳出】

区分	内容	H27	備考
報酬	特別支援教育士、いじめ防止対策指導員及び相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等報酬	16,705	①②
共済費	特別支援教育士、いじめ防止対策指導員及び相談員等	869	①②③
報償	スーパーバイザー	1,026	②
旅費	対策協議会委員、対策委員会、スーパーバイザー、スクールソーシャルワーカー等	432	①②③
需用費	リーフレット作成等	115	④
消耗品費	文房具等	27	②③
委託料	アセス入力	140	②
合計		19,314	

コスト情報（円）

項目		平成 25 年度決算	平成 26 年度予算	平成 27 年度予算	
財源内訳	直接事業費 A		31,414,000	19,314,000	
	国庫支出金				
	県支出金				
	借入金（市債）				
	その他(使用料など)				
	市（市税など）		31,414,000	19,314,000	
人件費（按分）B		人	2.00 人 17,022,000	2.00 人 17,298,000	
総事業費（A+B）			48,436,000	36,612,000	
単位換算コスト	①人口（4月1日現在）	117,680 人	117,680 人	117,182 人	
	市民1人当たり		412	312	
	②				

到達目標

活動及び成果指標		単位	H25実績値	H26目標値	H27目標値	備考	
活動成果	スーパーバイザーの学校訪問回数	回		87	48		
	いじめ認知後の解消率	%		100	100		